

10-12

死亡有事實(現認)證明書

一本 籍 地

一留守担当者現住所

一同 續柄、氏名

一所属部隊

一散居(官等)年

官等級

死亡前

死亡後

昭和二十一年四月一日午前九時

死したることを証明(現認)す

一病

一死病年月日

一死病場所

一死病原因

一死病診断書

昭和二十一年六月一日

所属部隊

官等級

氏名

現住所

證明書

- 一、死歿者所屬部隊名（通稱號）
一、徵集年
一、官年（死歿前）
一、氏名
一、死歿場所
一、死亡區分政二事由
一、死歿年月日時
一、死歿者本籍地留守擔當者

右
確
認
證
明
ス

昭和二十二年一月十二日

元所屬部隊名

10/11/1922

現
住
所

元官等級

氏名印

駐 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナシタ者ハソノ前後ヲ
 クワシクオ知ラセ下サイ

茹先

地方世話部慰恤係

151-10

出

年 月 日 生

三、戰死者徵集年昭 年 役種 子役 兵種 死亡前官等級陸軍軍官長 年 月 日

四、戰死年月日時及場所 昭和十四年四月廿七日 露ノ島リサル村ホリボリ河北六軒倉庫

五、戰死現認ノ程度確實

六、遺骨歸還、有無、地

七、戰死當時之狀況、概要

八、死亡區分

重慶市

發病年月日 昭和 年 月 日

九、其他 (上薩摩通於其死有覺悟佐ヲ申立テ、部下屬發覺、其時、申立濟ケン、上薩年月日及上薩地

10. 遺族、現住所

戰死者トハ韻柄ハ生ハ成ハ事ハ

氏名

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十七年十二月八日

證明者住所

感死者上關係同部隊高級士官

所屬部隊名 比島派遣振武隊 兵團 兵團

兵種 官等級陸軍 筆后中尉

氏名

市町村長證明箇所

右ノ面ニ載ル記述ニテハ聲明無キ

六

カード

所屬部隊	本籍地
...	...

陸軍第五師

年 月 日生

一役種、兵種、年次、現役、選補、勤務、器十五

一死亡年月日時 昭和三年四月廿一日 午後二時

一司
區場
分所
中野
野火
山
山

（死に事由又病名及現
認事由（発病年月日））
砒素に依り歎死（近頃北澤）
（増地）

遺骨の無き
砂の甲

一遺族現住
續稱云名所

右相連無テトテ證明ス

昭和二十二年二月八日

規
認
者

本所
藏書

中郎兼面五十郎隊

陸軍一等大

[illegible]

16-11

死者親類證明書

親類者

- 一 本籍地 [redacted]
- 二 親類所 石二岡
- 三 所属部隊 陸軍第八二一部隊 [redacted] 隊
- 四 官等及名 陸軍一等兵 [redacted] 日 生
- 五 復員年月 昭和三年十月二十日

死者

- 一 本籍地 [redacted]
- 二 住所 石二岡
- 三 所属部隊 陸軍第四師團通信第二中隊
- 四 官等及名 陸軍一等兵 [redacted] 日 生
- 五 至年月 昭和三年四月二日
- 六 病名 細菌性毒病

親類概要

出部ルソン バネス・オンドゥ街道に三ツツ、地質ニ
 於て野戦病院開設、服務中、右ノ者入院、
 右病者ニ伴、昭和三年四月二日、死ニ至ル、同部
 員、此ノ親類者、因カラ、平ニ係、供養ニ所ナリ
 在、通、相違無キトテ、證明ス
 昭和三年一月八日

親類者

但方世親類長殿

6-11

氏名

年 月 日生

氏名

氏名

市町村長證明箇所

五

相右
達
照
宣統元年四月

17-0377

戶主名 積柄 戶主

氏名

年 月 日生

二、所屬：國庫部隊名
連番部隊號名
比嘉大次郎 派遣 第 五 〇 四 八 部隊

三、戰死者徵集年^{昭和} 年「役種」^{步兵} 兵種^{步兵} 死亡前官等級^{陸軍少佐} 在官過^{昭和} 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和三年四月二日 宇高島中島(八ヶ岳)

五、戰死現認ノ程度

六、瘦骨歸還、有無、ナシ

七、戰死當時之狀況、概要

御氣 ナリ 果養不立

八、死亡區分 戰病死亡 事由 肺炎 發病年月日 昭和二十年五月廿日

九、其他（上陸地）放死有覺、警依り申立カ、部隊移駐班（下陸明記班）申立テバ上陸年月日及上陸地

二、道族（現住所）

戰死者ト、寂栖父

氏名

右ノ通り戰死セシタルコトヲ證明候也

昭和二十一年 五月 一日

證明者住所

戰死者ト、關係同中隊

所屬部縣名：藏南亞東縣

兵種 步兵 官等 陸軍

氏名

市町村長證明箇所

右記載事項、事實真相、董事上承認人

癸丑年十二月二十日

170-20

氏名

年 月 日生

比島派遣振武集團 [redacted] 部隊第三中隊

三、戦死者数 年大正 年 役種林 役兵種歩兵 死に前官等級隨軍 年庄宮遷移 月昭和七年十二月一日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和十一年四月五日午後五時、ルソノ島リール州オナノ町手地

五、戰死現認ノ程度推定(元律)中ノ商陣地ノ残存ノ否

六、遺骨歸還、有無、延

七、戰死當時之狀況之概要

夜而中夜者一也。敵障一三突入之再出擊之云然則大勢非也。

八、死亡區分

事由金貞王位遷

發病年月日 昭和二十年 四月 二 日

九、其他 (上) 辭職等三於ヲテ、
 亡者覺悟、改メリ申立カ、
 ハルガ、整理確定カガ、
 都落殘存班、
 不明等記入班、
 市立済ナレ、上陸年月日及上陸地

10、道族ノ現住所

殿死者上ノ敬祈 主也

氏名

右ノ通り戰死セラルタルコトヲ證明候也

昭和二十二年三月十五日

醒明者住所

戰死者上ノ關係同部ニ對シテ

所屬部隊名(岐阜) 飛騨武集團 伊園 大隊本部

兴趣

官等級陸軍軍至中

出外

市町村長證明箇所

右之通、相立違ふ者、物に認めらる

庚子年十月十日

昭和
年
月
日

05

竟注の上載記

新編

子集

卷二

卷之四

現

17

證明年
月
日

一、本堂所記は三攝作樂する。
一、死後着。臨終に必ず死亡前に記載
傷病名。爾には歿死。時は愛傷齒所を
載高死。時時病名を記載し炭狗年月日
の行ふ事あり。
一、用紙手書。簡則曰。壽綱に記載する事あり。
一、證明書。理新者氏名。處に捺印
可なり。

右ハ通り
證明す。

昭和二十一年三月二日

右ハミシダチヲ出デルモノナリ飛行情場ニ於テ部隊作命ヲ依リ
 長トシテ同地ニ在リテ對テ是等ノ從事ヲ執行邊攻作戦ニ秀出テ部隊
 分隊長以下ノ者ノミヲ設置シ師團作命ナリ前進中敵上陸
 部隊ヲ迎テ少シ得テ全員以戰中ニ亡ビテ部隊迎テ少シ得テ
 知リタルモ其後消息不明ナリ終戰後各關係部隊無負
 事ニ依リテ全負戰死シタル模様ナリ

比直成第一六六面都將
沙第二四封空無邊時

陸軍上等兵

陽病

元亡
ミシタオ島デルモニテ

死亡区分 生死不明

0-110086

看認現

本籍地

現任所
右同

階級氏名 陸軍中將

第二對法無韻隊

現認發明書

陸軍

一
本
籍

式

主

名之者比勅セグ勅ヲ於テ私ト共ニ長ク在往同市ニ於テ
商業ヲ營ミテ居リシ処日比戰等勅祭ト同時ニ軍囑託ヲ
命セシ勅勢中ノ処我軍利ニテ遂ニ同市北方四軒ガク只
山中ニ移駐シ其ノ陣地ニ於テ激戦ノ際昭和三年四月三日午
後三時頃遂ニ戦死セシ事ヲ現記致スナリ

永緒

弘治三年五月十五日

234-12

死亡事實證明書

本籍地	[REDACTED]		
所屬部隊	國有兵隊 第七四八部隊 (通稱) 三兵隊 隊員		
職名	二等兵	死後之生前年	昭和二十年三月十日
昭	二七	三	國
現住所	[REDACTED]		
母	[REDACTED]		
死亡年月日	昭和二十年四月三日		
死亡場所	比島ルン、島 マラ地区		
死亡部分	戦病死		
死亡事由	栄養失調		
傷痕名			
死亡後之階級	進級ノ要否		
死亡状況	昭和二十年三月十日 三ノ野新長院に入院 四月三日死す		

48-72

右の通り相違なき事を証明する

昭和二十三年七月三日

本籍地

現住所

所屬部隊

階級

咸前第七四八部隊

上等兵

戦死証明書

一、戦死者不詳地

戸主氏名横内 戸主

氏名

二、所属

三、戦死者

四、戦死ノ場所及年月日時

五、戦死現認ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況

八、死亡

九、其ノ他

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ被褥

主女

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二一年九月八日

証明者住所

戦死者トノ關係

所属部隊名

大隊高級區官

官等級陸軍元軍一區中尉

氏名

市町村長證明箇所

右證明

昭和二十一年十月十四日

地方世話部

大川納

所屬	固有姓名	濱松道經五七九番地	本籍
	通稱		
職名(任官)年次 等級氏名、生年月日	昭和 十七年 現役野砲兵	昭和十七年四月一日	死亡事由
留守擔當官	現住所	ルン島 バギガ附近	傷病名
年月日時	昭和十七年四月一日	戦病死	遺留品
死亡場所			
臨分			
知人の死理由	南方軍士陸軍病院で病死 入隊中戦病死	本人の従兄弟 南方軍士陸軍病院で病死 昭和十七年八月二日復員	

右證明明す
昭和十七年十一月十一日
現住所
所属部隊
南方軍士陸軍病院
官等陸軍衛生大尉氏名

本
籍
地

新屬部隊

臨江府志

先階
之
前級

陸軍

姜氏名



一死
年
月
日
時

昭和五年

71

四
日
一
時

分

死亡場所

丁巳年

新

モミヤルハナ

4 積山 四六寸

一死一生分

我

傷病名

一、死亡當時狀況

御所 海山院 4 枯山 ヲ 宅園 也 矢野 ヲ 育ミテ 山頂
 同 高 佐 部 隊長 ヲ 澤 栗 津 外 ヲ 果サシト 志 懐テ
 登 乘 中 敵 隊 4 砲 狙 ヲ 撃テ 収 刈 大 獲 也
 送リ

右現認人

天啓元年乙酉月十一日

現任所

現認者

无所属部队

陳其年

卷之六

附錄

伍号

試名



和

和

新元正殿固有	徽安	雅	官等級	通稱	名	[Redacted]
本籍地	雅	官等級	通稱	名	[Redacted]	[Redacted]
留守控當者	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
住所續柄氏名	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
死亡年月日	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
死亡場所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
死亡通分	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

現(確)認する
昭和三年五月十八日

旧官等級
旧官等級
現住所
氏名及捺印

[Redacted]

11/18

死亡證明書

一 死亡者所屬部隊名

固有名 第百一十軍司令部
通稱 第百一十軍司令部

一 徵集年(任官年) 役種現役兵補旅團昭和十六年徵集

一 死亡者本籍地

一 官等級(發令年月日) 死亡前職等次 一 發令年月日照 一 死亡後職等

一 氏名 年 月 日

一 死亡年月日時 昭和二十年四月 年 月 日 時 分

一 死亡場所 北島ルンギルン

一 死亡理由 戦傷病死に依りては病名及び受傷(頭部中絶) 頭部中絶

一 遺留品 少尉奉持 少尉奉持

右確證證明

元所屬部隊名 北島旅團第二九七四二部隊

現任 佐官

元官等級氏名 陸軍少長

發令年月日上陸地 昭和二十一年十二月二十二日 北島上

遺骨
遺囑
元亡狀況

本
籍
地

吳昌碩

无亡状况

遺像

8-12

陳中一先生書

天 天

如確認す

昭和二十二年二月五日

舊所編纂
新書等集

時常失早一中隊

毒

氏名

戰死

1

20. 4. 5

1000

小説

173
6月

100

傷風

石原 本國運

地

證明書

本籍地

前屬部隊 船舶工兵 第三聯隊 (昭和一九七七部隊)

昭和三年徵集予備役軍曹

右之者昭和二十年四月五日ルソン島附近戦闘ニ

於テ戦死シタルニテ證明ス

昭和二十三年十月二日

調製官 陸軍少尉

(印)

24-10